

一般社団法人 日本医療薬学会
平成 25 年度第 1 回定例理事会 議事録

一．開催日時：平成 25 年 2 月 25 日(木) 14 時 ～ 17 時 00 分

二．開催場所：日本医療薬学会会議室

三．出席者

会 頭：安原 真人

副会頭：奥田 真弘

理 事：荒木 博陽、井関 健、川上 純一、河原 昌美、北田 光一、草井 章、
佐々木 均、寺田 智祐、山田 清文、山本 信夫

監 事：乾 賢一、山田 安彦

年会長：佐藤 博（第 22 回年会）

陪席者

会計顧問：五十嵐 邦彦

事務局：中澤 一純、松本 とみ恵、星 隆弘

欠席者

副会頭：鈴木 洋史、望月 眞弓

理 事：青山 隆夫、大澤 孝、大森 栄、谷川原 祐介、宮崎 長一郎、山本 康次郎

年会長：眞野 成康（第 23 回年会）

四．議長：安原 真人

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 12 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の要領及びその結果

1. 平成 24 年度第 6 回定例理事会の議事録の確認

議長より、昨年 12 月 20 日に開催された第 6 回定例理事会(以下、前回理事会という)議事録案を基に議事内容の確認が行われ、議事録案の一部を修正することとなったほか、更なる指摘がある場合には本理事会終了時まで指摘するよう要請があった。続いて、資料に基づき、前回理事会開催日から昨日までの会務の状況報告があった。

2. 新規採用事務局職員（非常勤職員）の紹介

事務局長より、本年 2 月 12 日付けで採用した事務局職員（非常勤職員）の紹介があった。

3. 協議事項

(1) 平成 24 年度事業報告（案）

寺田理事より、資料に基づき、24年度事業報告（案）の説明があった。記載事項の一部を修正することで承認され、第5回定時社員総会（平成25年3月27日開催）に諮ることとなった。

(2) 平成24年度決算報告（案）

佐々木理事より、資料に基づき、24年度決算報告（案）の説明があった。昨年度は、独立した本学会事務所の設置に伴うオフィスの賃貸借や什器等の購入、常勤の事務局長の雇用等に係る支出費用を計上した補正予算を編成し、第4回定時社員総会（平成24年3月28日開催）の承認を受けて執行したこと、決算処理の結果は収支差額が黒字となったことなどが報告された。協議の結果、本案は承認され、第5回定時社員総会に諮ることとなった。

(3) 平成24年度監査報告

乾監事より山田（安）監事の同席のもと、本理事会に先立ち、会頭、総務担当副会頭、総務委員長、財務委員長、会計顧問らを交えて、24年度の事業報告書及び決算報告を基にした会務の運営及び予算の執行状況に係るヒアリングの実施と計算書類に係る監査を実施した結果、適切な会務の運営と経費の執行が確認できたことの報告があった。なお、会員の増加策を講じるための会員の動向の把握、会員サービスである学会誌及び年会のあり方等の検討を進めることが重要である旨の意見が付け加えられた。

(4) 平成25、26年度 推薦代議員候補者の選出

議長より、資料に基づき、推薦代議員候補者（以下、候補者という）の選出に係る説明があった。本年1月に公示された代議員選挙の結果を受け、本年2月18日に開催した代議員推薦委員会において、代議員選出規程に基づき21名の候補者を選出したこと及び選出理由の説明があった。協議した結果、全候補者の推薦が承認され第5回定時社員総会に諮ることとなった。また、将来的に本学会の運営に参画するメンバーとして、例えば国公立の研究機関等に勤務する研究者らにも参画していただき、その専門領域の立場から進言等をいただければ幅広い学会活動に繋がるという意見もあった。

(5) 所得税徴収額の改訂に伴う謝金等の支払い

議長より、資料に基づき、所得税の源泉徴収義務者に課される復興特別所得税の徴収と納税に係る説明及び提案があった。講師謝金等の支払時に源泉徴収している所得税に対して、本年1月より復興特別所得税を併せて徴収することになった。昨年度徴収した源泉所得税額より復興特別所得税額を算出した結果を基に、講師への謝金等の金額を従前と同額とし本学会が復興特別所得税を支払う主旨の提案があった。協議した結果、全会一致で承認された。

(6) 非常勤職員の就業規則・給与規則（案）

中澤事務局長より、前回理事会の継続協議となった本学会事務局の非常勤職員用就業規則・給与規則の両規則の修正案に係る説明があった。前回理事会での指摘を受け、事務局から社労士に依頼し確認を受けた就業規則案について協議した結果、改正労働契約法で定める非正規職員の有期雇用契約に収まるような具体的な規定文を追記すべきという意見が多くあった。今後、前述の追記と共に、諸規定文章の細部の見直しをすることとなった。なお、給与規則案については、意見がなかった。

(7) 英文雑誌の発行

奥田副会頭より、継続的に意見交換が実施されている英文雑誌の発行に係る説明があった。本理事会に先立ちメールにて全理事に意見聴取した結果、英文雑誌のタイトルとして

「Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (JPHCS)」を推す意見が多かったこと、スコープについては前回理事会に提示したものに対して質問があったが解決できる内容のものであることが報告された。続いて、英文誌用の電子投稿システムの導入及びランニングコスト、出版形態等に係る調査及び試算報告があり、今後、更なる事務局の体制や人件費等に関する検討も含め、具体的な検討を行う準備委員会を編成することとし、次回の理事会に当該編成案を提示することとなった。

(8) 平成 25 年度公開シンポジウムの開催計画

川上理事より、資料に基づき、今年度開催する公開シンポジウムの開催計画に係る説明があった。開催候補地及び実行委員長案は次のとおり。①栃木県、越川千秋 氏（獨協医科大学病院）、②富山県、藤秀人 氏（富山大学）、③岡山県、千堂年昭 氏（岡山大学病院）、④愛知県、山田清文 氏（名古屋大学医学部附属病院）の 4 地域。また、開催テーマは次の 4 題からの選択とする。①医療薬学研究／臨床研究（学会認定薬剤師や指導者の育成）、②がん専門薬剤師及びがんに関する内容（学会としてがん専門薬剤師制度の普及啓発と専門薬剤師の育成）、③薬物療法専門薬剤師（薬物療法専門薬剤師の普及啓発）、④病棟薬剤師業務／地域医療その他（チーム医療）。協議した結果、了承された。

(9) 24 年度年会費未納者からの要望への対応

議長より、資料に基づき、平成 24 年度年会費の未納者 1 名より提出された学会費の遡及納入を希望する嘆願書に係る説明があった。協議した結果、従前に倣い、事務手数料を聴取の上、前年度年会費の遡及納付を了承した。

(10) 医療薬学誌への投稿資格

中澤事務局長より、従前の理事会において了承された医療薬学誌への投稿資格の変更（投稿論文の筆頭著者を会員に限定しないことへの変更）を受け、会員と非会員の差別化（会員へのメリットの享受）の設定に係る検討として、編集委員会委員の意見を調査した結果が報告された。投稿料・掲載料等に差を設けること等の意見があり、編集委員会の意見をまとめた上で、再度、本理事会で検討することとなった。

(11) その他

議長より、薬剤師の専門性を認定する制度・資格が増えてきている中、今後のあり方について問題提起があり、専門薬剤師育成委員会で具体的に検討することとなった。

4. 報告事項

(1) 第 22 回年会報告

佐藤第 22 回年会長より、昨年 10 月 27・28 日の両日に開催した同年会の報告があった。予め新潟県及び新潟市に申請していた開催助成金を受けるための手続き中であることが報告された。

(2) 第 23、24 回年会準備状況

議長より、本年 9 月に開催される第 23 回年会の準備状況として、特別講演 2 題及び教育講演 3 題の演者を決定したこと、今月 18 日を締切りとした公募シンポジウムの募集に、14 日現在で 21 セッションの申込みがあったこと及び 3 月下旬より一般演題の募集をすることが報告された。

続いて、24 回年会の準備状況として、奥田年会長より、イベント業者の選定作業を行ったことが報告された。

(3) 平成 24 年度がん専門薬剤師集中教育講座（福岡）収支報告

奥田副会長より、昨年 12 月 8 日・9 日の日程で日病薬と共催したがん専門薬剤師集中教育講座（福岡・九州大学医学部講堂にて開催）の収支計算報告について、日病薬より提示された報告書の説明があった。

(4) 平成 25 年度会費納入状況報告

荒木理事より、本年 2 月 18 日現在の会員数（会費の払込状況）として、前年度とほぼ同程度の 7422 名であることが報告された。

(5) 学会パンフレット（改訂版）作成

川上理事より、昨年度作成した本学会の広報用パンフレットのの一部を改訂したものを作成し、入会者の獲得に活用する方針が説明された。なお、今後、入会者が増加するようなパンフレットの配布方法を検討する意見があった。

(6) 2013 年度海外研修応募状況報告

議長より、今年度の海外研修員募集に係る応募状況と当初の募集締切日を 3 月 1 日まで延長したことが報告された。

(7) 医療薬学 投稿規定の一部改訂

中澤事務局長より、本年 2 月 4 日付けで医療薬学の投稿規定の一部改訂として、倫理規範の引用情報（日本学術会議の「科学者の行動規範」の更新による）及び本学会事務局の FAX 番号の更新を行ったことが報告された。

(8) 委員会報告

1) 平成 24 年度代議員選挙管理委員会

議長より、昨年 12 月 20 日に開催された代議員選挙管理委員会の議事録を基に、議事内容が説明された。当該選挙結果の速報については、前回理事会において森田選挙管理委員会委員長より報告済である。

2) 平成 24 年度第 1 回医療薬学教育委員会

中澤事務局長より、昨年 12 月 11 日に開催された第 1 回医療薬学教育委員会の議事録を基に、議事内容が説明された。当該委員会の活動目的である臨床系教員の臨床実務、教育・研究活動を支援することを念頭に現状調査として、実務家教員連絡会とタイアップして全国の薬科大学（薬学部）の臨床系教員を対象にアンケート調査を実施することが報告された。当該調査の結果については、3 月 27 日の本学会第 4 回定時社員総会の後に開催する実務家教員連絡会において中間報告すること、また、第 23 回年会において臨床系教員をテーマとするシンポジウムを企画し、その中で最終的な調査結果を報告する方針の説明があった。

3) 平成 24 年度第 2 回薬物療法専門薬剤師認定制度委員会

山田理事より、昨年 12 月 24 日に開催された第 2 回薬物療法専門薬剤師認定制度委員会の議事録を基に、薬物療法専門薬剤師の認定審査の状況ならびに認定試験に合格した場合の有効性等に係る協議内容が説明された。

4) 平成 25 年度第 1 回出版委員会

中澤事務局長より、本年 2 月 4 日に開催された平成 25 年度第 1 回出版委員会の議事として、疾患別薬物療法（第 I ～ V 巻）の引用ガイドラインの更新情報等を本学会 HP 上で公開する

こと、販売促進策の検討、本誌のアップデートに係る協議内容が報告された。

(9) 後援依頼

議長より、資料に基づき、本学会に届いた次の後援依頼について、承諾回答した旨の報告があった。

- ・ 「日本学術会議薬学委員会医療系薬学分科会主催シンポジウム(H25. 5. 30)開催」
- ・ 「第14回オンコロジーセミナー(H25. 3. 16)」(NPO 法人がん医療研修機構)
- ・ 「第16回日本癌治療学会アップデート教育コース(H25. 6. 30)」(日本癌治療学会)

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は17時00分に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会頭 印

監事 印

監事 印